令和７年度とよかわデジモニ第３回アンケート結果
「投票率向上に向けた取り組みに関するアンケート」

概要

■目的

豊川市では、伸び悩む投票率の向上を目的に、若者や子育て世代に向けた選挙啓発に取り組んでいるところです。

今回、市政モニターの皆さんに「投票率向上に向けた取り組みに関するアンケート」を行い、今後の啓発事業を進める上で参考とするものです。

■アンケート対象者

令和7年度とよかわデジモニ モニター100人

■回答期間

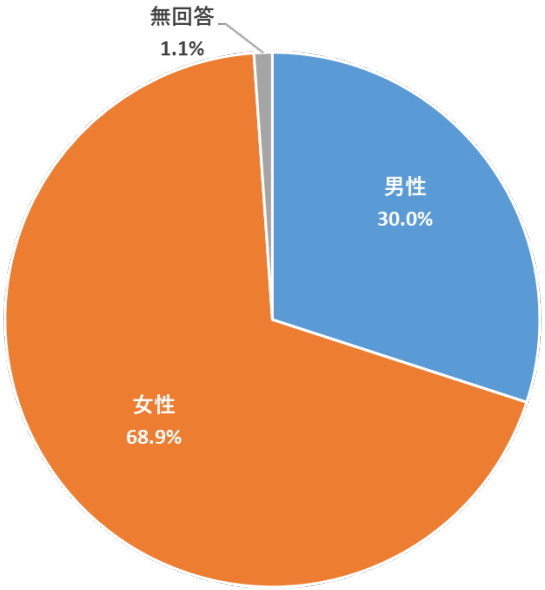
令和7年9月10日（水）から9月24日（水）まで

■回答者数（回答率）

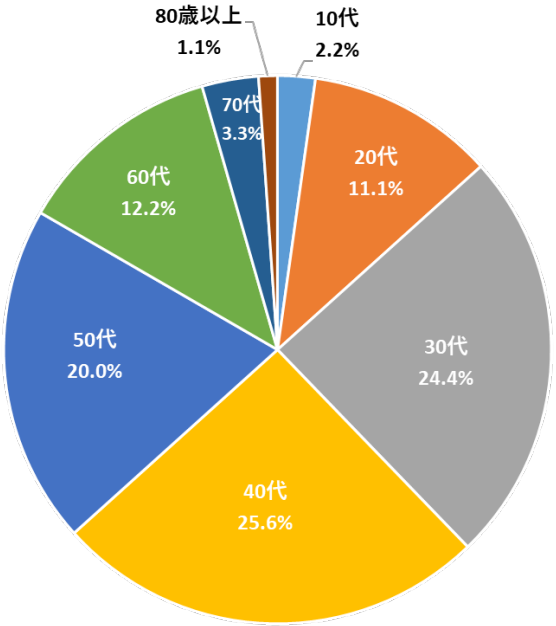
90人（90%）

■回答者の内訳

性　別	回答数	%
男性	27	30.0
女性	62	68.9
無回答	1	1.1
合計	90	



年　代	回答数	%
10 代	2	2.2
20 代	10	11.1
30 代	22	24.4
40 代	23	25.6
50 代	18	20.0
60 代	11	12.2
70 代	3	3.3
80 歳以上	1	1.1
合計	90	



※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しています。このため、合計が 100 にならない場合があります。

担当課の総論

「何を通して参院選があることを知りましたか」（問１）について、「テレビ、新聞、インターネットの記事などの報道、広告」（74.4%）、「入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ)」（41.1%）、「選挙の際に設置されるポスター掲示板」（25.6%）の順に高い結果でした。

「何を通して期日前投票の場所や時間を知りましたか」（問２）について、「入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ)」（60.0%）、「テレビ、新聞、インターネットの記事などの報道、広告」（22.2%）、「家族や友人、会社での会話」（16.7%）の順に高い結果でした。テレビを始めとするメディアからの情報発信を除くと、入場券から選挙に関する情報を得ている方が多いことが分かりました。

市選挙管理委員会が行っている選挙啓発活動のうち、「効果があると思うものを選択してください」（問３）について、「入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ)」（90.0%）、「選挙の際に設置されるポスター掲示板」（37.8%）、「広報とよかわ」（33.3%）の順に高い結果でした。

「ステッカー版投票済証を知っていますか」（問４）について、「知っており、もらったことがある」（54.4%）と「知っているが、もらったことはない」（23.3%）を合わせた“知っている”が 77.7%という結果でした。このうち、“知っている”と回答した方を対象とした「何を通してステッカー版投票済証を知りましたか」（問５）については、「投票所で見て知った」（58.6%）、「家族や友人、会社での会話」（24.3%）の順に高い結果でした。

ステッカー版投票済証の配布について、「あなたの考えに最も近いものを１つ選択してください」（問６）については、「選挙に関心をもってもらうために一定の効果があると思われるので、このまま続けるべきだ」（40.0%）、「絵柄など一部内容を改め、続けるべきだ」（15.6%）を合わせた、何らかの形で“続けるべきだ”が 55.6%、対して「これまでどおり紙の投票済証でよい」は（24.4%）でした。

「いなりんキラシールを知っていますか」（問７）について、「知っている」が 41.1%、「知らない」が 58.9%でした。「知っている」と答えた方を対象とした「何を通していなりんキラシールを知りましたか」（問８）については、「投票所で見て知った」（32.4%）、「家族や友人、会社での会話」（29.7%）の順に高い結果でした。ステッカー版投票済証、いなりんキラシールに共通して、投票所で見て知った方が多く、市選挙管理委員会からのお知らせをどのように市民に届けるか、今後の情報発信方法が課題であることが分かりました。

いただいた意見を参考に、引き続きより効果的な啓発事業を検討してまいります。

行政課

アンケート集計結果

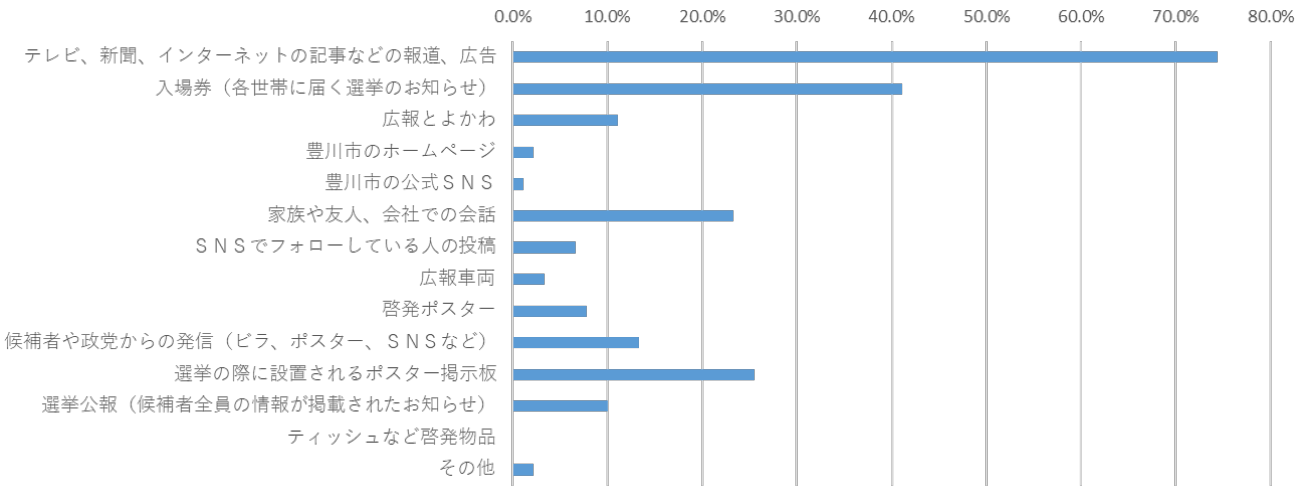
※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第２位を四捨五入して算出しています。このため、合計が100にならない場合があります。

※その他・自由意見については、原則ご記入いただいた原文のまま記載をしていますが、表記誤りなどについては訂正し、アンケート内容と関係ない意見については掲載しない場合があります。

令和７年７月20日に実施された参議院議員通常選挙（以下参院選）についてお伺いします。

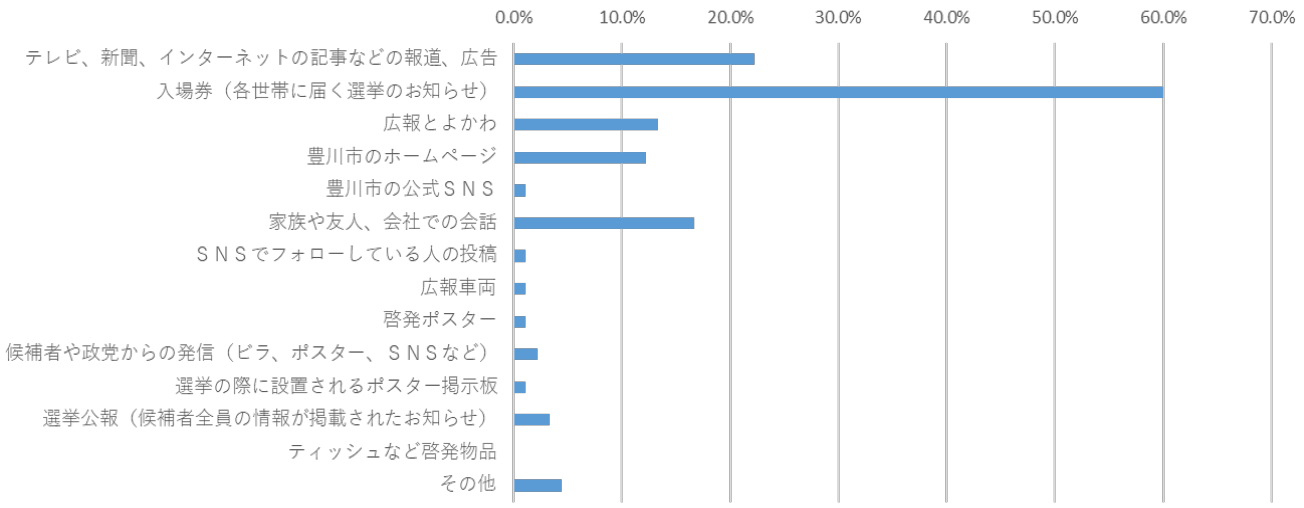
【1】何を通して参院選があることを知りましたか（複数選択可）

項　目	回答数	%
テレビ、新聞、インターネットの記事などの報道、広告	67	74.4
入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ）	37	41.1
広報とよかわ	10	11.1
豊川市のホームページ	2	2.2
豊川市の公式SNS	1	1.1
家族や友人、会社での会話	21	23.3
SNSでフォローしている人の投稿	6	6.7
広報車両	3	3.3
啓発ポスター	7	7.8
候補者や政党からの発信（ビラ、ポスター、SNSなど）	12	13.3
選挙の際に設置されるポスター掲示板	23	25.6
選挙公報（候補者全員の情報が掲載されたお知らせ）	9	10.0
ティッシュなど啓発物品	0	0.0
その他 ・X などの SNS ・仕事上	2	2.2



【2】何を通して期日前投票の場所や時間を知りましたか（複数選択可）

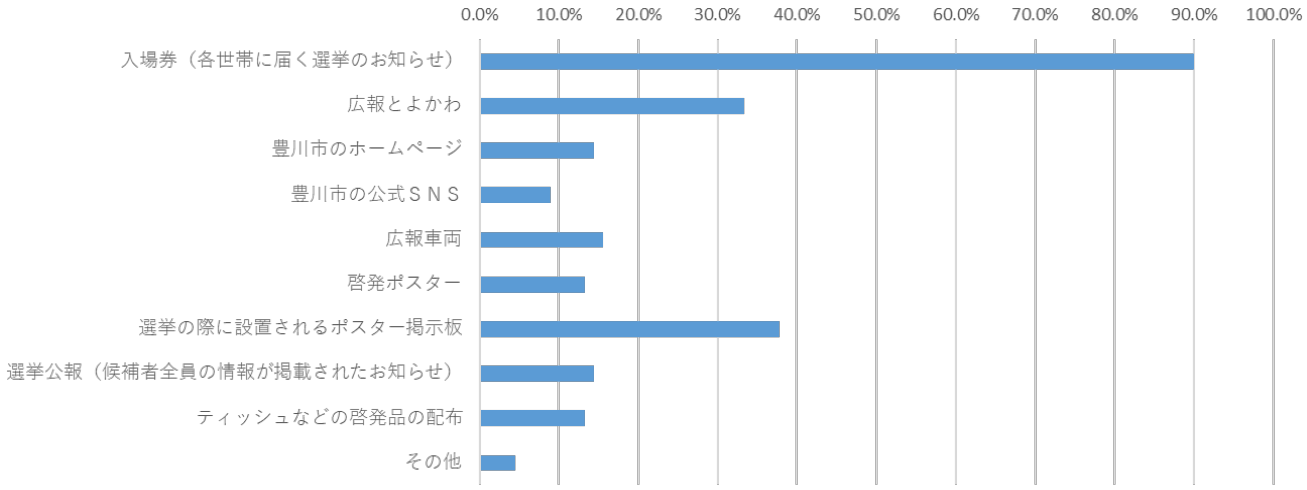
項　目	回答数	%
テレビ、新聞、インターネットの記事などの報道、広告	20	22.2
入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ）	54	60.0
広報とよかわ	12	13.3
豊川市のホームページ	11	12.2
豊川市の公式SNS	1	1.1
家族や友人、会社での会話	15	16.7
SNSでフォローしている人の投稿	1	1.1
広報車両	1	1.1
啓発ポスター	1	1.1
候補者や政党からの発信（ビラ、ポスター、SNSなど）	2	2.2
選挙の際に設置されるポスター掲示板	1	1.1
選挙公報（候補者全員の情報が掲載されたお知らせ）	3	3.3
ティッシュなど啓発物品	0	0.0
その他 ・友人 ・以前より期日前投票の制度を知っていた ・イオンに買い物に行った時 ・毎回同じなので行く前に入場券で再確認する	4	4.4



豊川市選挙管理委員会では選挙の日程などをお知らせするために様々な啓発活動を行っています。

【3】効果があると思うものを選択してください （3つまで選択）

項　目	回答数	%
入場券（各世帯に届く選挙のお知らせ）	81	90.0
広報とよかわ	30	33.3
豊川市のホームページ	13	14.4
豊川市の公式SNS	8	8.9
広報車両	14	15.6
啓発ポスター	12	13.3
選挙の際に設置されるポスター掲示板	34	37.8
選挙公報（候補者全員の情報が掲載されたお知らせ）	13	14.4
ティッシュなど啓発物品	12	13.3
その他 ・スーパーなど人が集まるところでのポスター掲示 ・スーパーや薬局 ・入場券送付の封筒。開封しないと分からないでは意味ない。 ・皆がよく使うアプリの広告などで知らせる。	4	4.4

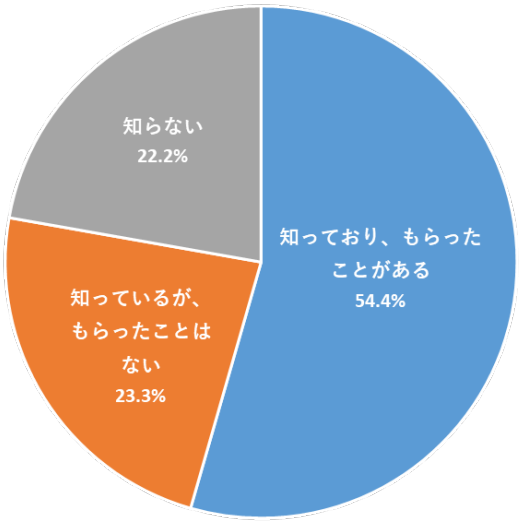


豊川市選挙管理委員会は、投票率の低い若年層をはじめ多くの方に選挙に関心を持ってもらうため、令和5年10月1日執行の豊川市長選挙から「ステッカー版投票済証」を配布しています。問4から6までは、「ステッカー版投票済証」について伺います。

市ホームページ：https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/somu/gyosei/2/10/senkyo_keihatsu/2011.htm

【4】ステッカー版投票済証を知っていますか（1つ選択）

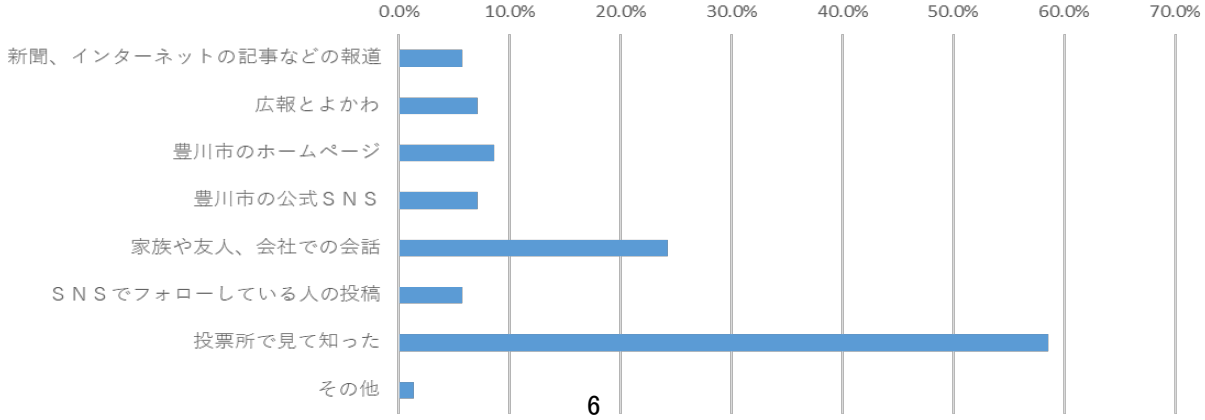
項　目	回答数	%
知っており、もらったことがある	49	54.4
知っているが、もらったことはない	21	23.3
知らない	20	22.2
合計	90	



【5】何を通してステッカー版投票済証を知りましたか （複数選択可）

【4】で「知っており、もらったことがある」、「知っているが、もらったことはない」を回答した方のみ（対象者70人）

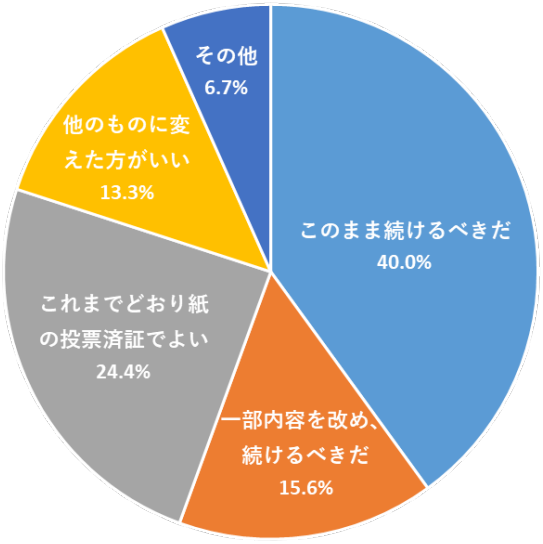
項　目	回答数	%
新聞、インターネットの記事などの報道	4	5.7
広報とよかわ	5	7.1
豊川市のホームページ	6	8.6
豊川市の公式SNS	5	7.1
家族や友人、会社での会話	17	24.3
SNSでフォローしている人の投稿	4	5.7
投票所で見て知った	41	58.6
その他 毎回もらっていて、あるものだと。最初は、何を通して知ったのか、忘れました。	1	1.4



ステッカー版投票済証の配布について伺います。

【6】あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください（1つ選択）

項　目	回答数	%
選挙に関心をもってもらうために一定の効果があると思われるので、このまま続けるべきだ	36	40.0
絵柄など一部内容を改め、続けるべきだ	14	15.6
これまでどおり紙の投票済証でよい	22	24.4
ステッカーではなく他のものに変えた方がいい ・日用品 ・商品券や QUO カード ・ポケットティッシュやウェットティッシュ ・花の種 ・豊川市内の店舗の割引券 ・何らかのポイント配布 ・ティッシュなど使えるもの ・安価なお菓子 ・LINE などスマホで使用する特別なスタンプ ・現金、金券、クーポン券 ・文房具など実用的なもの ・カードタイプ	12	13.3
その他 ・ステッカーはデザインが素敵ですので、続けても良いと思いますが、新しい案も常に検討し変化し続けていくと良いと思います。 例えば、①豊川市の魅力的な場所や意外と知らない穴場スポットなど豊川市の魅力をアピールする絵葉書タイプの投票済証②4 回の選挙にすべて投票すると「絵柄」が完成する投票済証③4 回の選挙の投票済証を並べるとストーリーが完結するストーリー型投票済証（例）いなりんを主役に次の投票済証が欲しくなるようなストーリー展開で④市内の子どもたちが描いた絵を印刷した投票済証⑤市内の老若男女が詠んだ川柳を印刷した投票済証 ・申し訳ないですが、投票済証の必要性がわかりません。何かメリットがあるのでしょうか？ ・特になくてよいと思います。デジタルコンテンツにしたらいいと思います。 ・貰っても捨てるだけの方が大多数だと思うから、何も必要ないと思います。 ・投票済票を労働組合に提出する必要があり、今までの印刷物に、くらべ経費がかっていると思われる。また、ステッカーなど何に使うのか？ ・会社に投票済票の提出を求められているので、投票済票とは別に貰いたい。	6	6.7
合計	90	

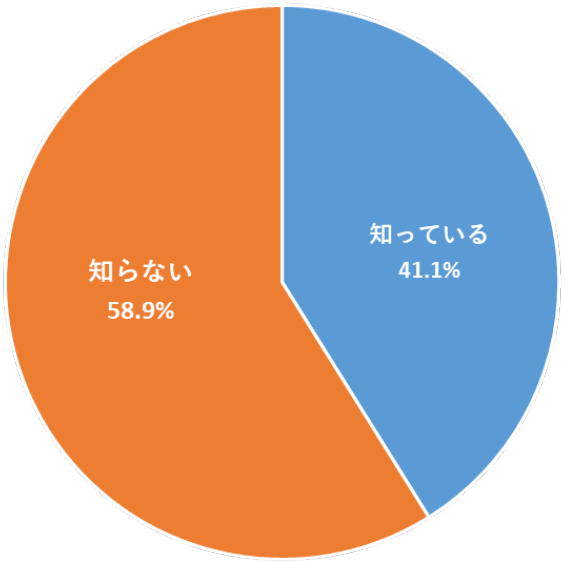


豊川市選挙管理委員会は、「子どもの頃に親の投票についていったことのある人は、ない人よりも投票に参加した人が多い」という国の調査結果に着目し、子連れ投票を促すために、令和7年7月20日執行の参院選から、投票所に来た子どもたちに「いなりんキラシール」を配布しています。問7から9までは「いなりんキラシール」について伺います。

市ホームページ：https://www.city.toyokawa.lg.jp/soshiki/somu/gyosei/2/10/senkyo_keihatsu/24431.htm

【7】いなりんキラシールを知っていますか（1つ選択）

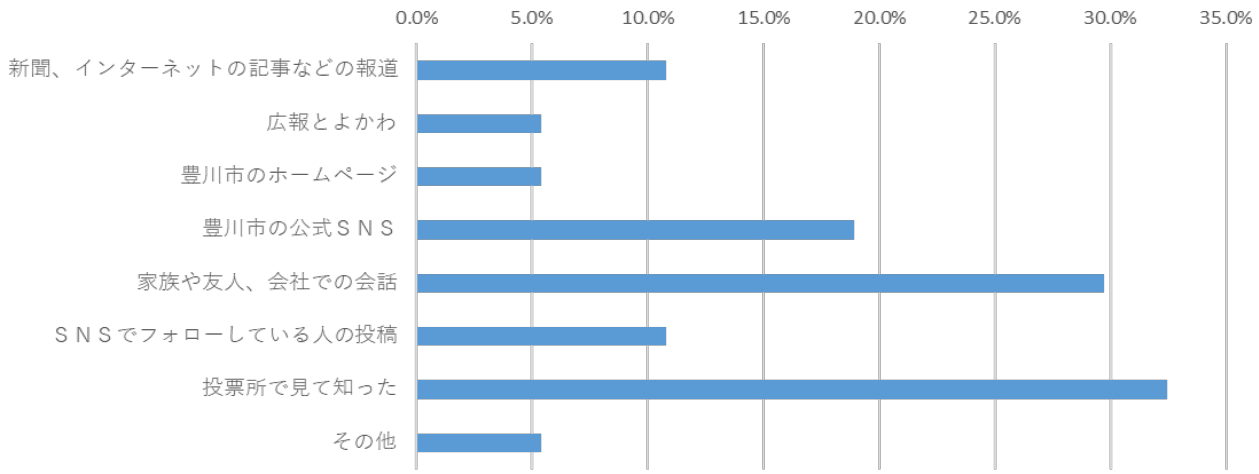
項　目	回答数	%
知っている	37	41.1
知らない	53	58.9
合計	90	



【8】何を通していなりんキラシールを知りましたか （複数選択可）

【7】で「知っている」と回答した方のみ（対象者37人）

項　目	回答数	%
新聞、インターネットの記事などの報道	4	10.8
広報とよかわ	2	5.4
豊川市のホームページ	2	5.4
豊川市の公式SNS	7	18.9
家族や友人、会社での会話	11	29.7
SNSでフォローしている人の投稿	4	10.8
投票所で見て知った	12	32.4
その他 ・覚えてない ・投票後に豊川市の Instagram 投稿を見て知りました。	2	5.4

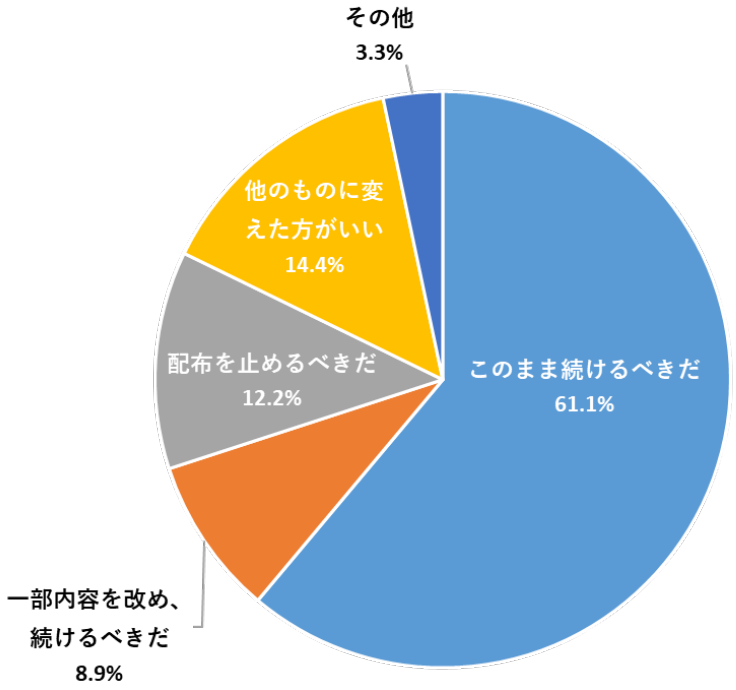


いなりんキラシールの配布について伺います。

【9】あなたの考えに最も近いものを1つ選択してください（1つ選択）

項　目	回答数	%
選挙に関心をもってもらうために一定の効果があると思われるので、このまま続けるべきだ	55	61.1
絵柄など一部内容を改め、続けるべきだ	8	8.9
効果がないので配布を止めるべきだ	11	12.2
シールではなく他のものに変えた方がいい		

・昔あった風船 ・鉛筆など使える文具 ・花の種 ・子供の中で、流行っているものとコラボしたもの ・地場の食材を使ったお菓子 ・安価なお菓子 ・お菓子 ・市内で使える食事のクーポン ・風船は喜んでもらっていた ・紙が勿体無いから環境に優しいもの、デジタル系のもの ・昔のようにゴム風船がいいと思う ・子供向けですが、鉛筆など、使える物の方が良いかと思う。 ・ボールペンやお水など使用できるもの	13	14.4
その他 ・申し訳ないですが、効果があるのかどうかもわかりません。ステッカー印刷経費の観点から、必要性の検討をしたほうがよいような気がします。 ・デザインの種類が増えると良いと思う。男の子、女の子がそれぞれ選びやすいデザインがあるといいなと思った。また、集めると絵が完成するようなデザインにして全部集めたら粗品がもらえるなどのシステムにしても、次、またその次とつながっていくのでは？と思った。 ・やたらとその辺に貼られるのも困るシールは目的にあった使い方をすべき。無駄に配布をすると落書きと同じになり兼ねない。	3	3.3
合計	90	



【10】投票率の低い世代への啓発に関するご意見を入力してください
（10代から20代に対して投票を呼び掛けるために、効果があると思われる活動があれば教えてください。ただし、電子投票（PCやスマートフォンを使用して投票する形式）以外の意見を教えてください。）

政党やマニフェストなどの比較動画（ゆっくり解説みたいなの）があると理解しやすいと思う。近年の動画ブームを考慮すると、視覚優位の特性持ちにも響きやすいと思う。また、選挙公報は分かりにくい言葉や硬い言葉が多いので、具体的で分かりやすい言葉や柔らかい言葉を使うとより理解が進むと思う。出馬する人たちが若年層のイベントに参加したり、日ごろから交流する機会があると親近感が出て投票意識が高まるのでは？（豊川の人たちはミーハーが多いから効果的だと思う）
よくある意見だが、SNS やコンビニでの PR 活動。まずは、政治に関心をもってもらうことが大事。投票にあたって何が論点になっているの？何が変わるのか？高齢者の口喧嘩みたいな目でみられていてはダメ。若者にわかりやすく、刺さりやすいキャッチ―なフレーズが必要。
投票所にいくと、LINE などの特別なスタンプがもらえる、又はご当地キャラクターの画像がもらえるなど。
30 代も 40 代も 50 代も投票率が低いのです。仕事、会社勤務の層に選挙情報が届いていないです。仕事、会社勤務対象としてタイムカードを押す場所に貼れる A4 サイズの選挙案内が有効な手段と考えています。また、コンビニやスーパーのレジに貼るのも有効と考えています。30 代も 40 代も 50 代も投票率が低いのは、選挙の争点がモヤモヤとムニャムニャにしているから、また、普段、意見などを言う場、機会が行政機関に無いと考えているので、地方行政主体で政治的意見を受け入れる部署を新設するのも有効と考える。
候補者の公約や活動などよく分からないから、若者向けに、候補者の演説のビデオを撮り、そのビデオを YouTube や QR コードなどに変換し、豊川の広報誌に載せてもらえると、若者もその演説を観て、投票など入れやすいかなと思う！！
投票率の低い世代への啓発は、まず「投票が自分ごとである」と実感できる機会づくりが大切だと思います。学校や SNS で、政治が日常生活にどう影響するかをわかりやすく伝えること、また投票のやり方や仕組みを気軽に知れる環境を整えることで、関心が高まりやすくなると考えます。
根本は、ダメな政治家の問題だと思いますが、残念ながら、インセンティブを提供して投票に行くとお得だと思ってもらうしか効果が無いと思います。投票したら、割引券、無料クーポンなど、直接的なメリットがあるものを提供するのが良いと思います。
学校教育の中で、民主制や選挙投票の意義を、地道に伝えていくしかないかなと思います。
学校で啓発する
実際の投票箱や記載台を使った模擬選挙
もう少し、簡単にわかりやすくすると良いかも。あとは、ネット投票できる様にするとか。
小学校の交通安全の指導みたいな感じで、小学校へ市役所の人が、選挙へ行かないと自分たちの暮らしにどのような影響を与えるかを劇やアニメを用いて教える。授業の説明だけでは理解できないから、選挙が必要だと思わない。
自分の将来は人任せ、他人事ではなく、まず自分自身もう一度真剣にどうしたらいいのか考えてみてほしい。

若者に投票してほしいならスマホからの投票が一番だと思います。それ以外ありません。
・投票へ行かないと、10 代、20 代の意見が生活に反映されず、投票率の高い年代の民意に偏ってしまうということを、具体例を挙げて SNS 等で周知させる。 ・10 代、20 代が興味を持つような候補者を出す。
イオンでの期日前投票は効果的だったと思う。期日前投票をそれらの世代が選挙以外の目的でも行く場所で数日行う。
立会人を新成人にお願いする。若い人たちで作る「街づくり」会議を設け、その議題の一つに選挙を入れる。各高校に一回、期日前投票所を設置する。
投票をした若い人に、いなりんグッズをプレゼントとか、イオンモールとかに協力してもらって、割引きクーポンを配布して選挙に行った後はイオンモールでお買い物とかあると選挙に行きたいと思う。私は選挙行きましたけど。同世代の人達も選挙行ってほしいです。
駅や大きなスーパーなどで選挙の投票のチラシ配布。
投票可能な場所を増やす。投票所の管理する人も同年代の人にお願いする。
投票済証を SNS に載せるのがカッコいいという文化の形成
大型のスーパーで期日前投票が出来ると便利だと思う
小中学校へ選挙管理委員会主催の出前授業や疑似投票体験講座などを行い、幼い頃から投票意識を高める。
学校教育の中に選挙に関する内容を取り込み、選挙権のない頃から選挙がいかに大切なものかを教育していくべき。
学校の授業で選挙に関しての活動や勉強会を行う
若者の集まるところに投票所をつくるべき
SNS を通じた投票の呼びかけ
海外の例ですが、選挙権を持たない子どもたちに学校で実際の選挙と同じ候補者、政党に投票をする「子ども選挙」を実施してもらい、その選挙結果を公表する。これを選挙の都度行い、有権者になったときにスムーズに実際の投票に意向できるように促す。
学校やイオンモールやお祭りとか若い世代の子が行く場所でアンケートを実施し行かない理由を探る。10 代 20 代になぜ投票が必要なのかを話す機会を作り政治の教育活動を行う。
投票に来た人の中から米が当たるとか、なにか特典があれば来るような気がする
若い人は広報なんかみないので、ネットや SNS を活用する
人気アイドルがイオンモールなどでキャンペーンする
10 代は学校で選挙について考える時間が必要であると考えます。選挙の流れや仕組みについての学習は既にしていただいていると思いますので、自分たちの暮らし・環境のどこをより良くしていきたいかをディベートしたり、候補者全員の意見を知る機会を設けたりしても良いのではないかと考えます。今の 20 代の方は、学校に通う 10 代の子どもたち以上に「当事者意識を持ち、選挙について考える機会を自発的に設けること」が難しいと考えます。20 代以降の親世代に限定はされますが、保育園や幼稚園に候補者全員の名前と公約がわかる資料や、投票を促す資料を配布してみるのはいかがでしょうか。また、投票後に配布のステッカーを使って「いなりんシールを持っていなりんと写真を取ろう！」のようなイベントがあっても親世代には響くのではないかと考えます。ご検討よろしくお願いいたします。

選挙割
SNS を利用し、興味を持てる内容が必要
SNS が 1 番見てもらえると思う、選挙候補者の紙等も若者がもう少し見やすくしてもいいと思う。選挙会場付近で若者に向けたイベントなどあったら良いと思う。
紙の媒体は見ないと思うので市の SNS を活用する。また、NHK の様に選挙区内の候補者の政見放送をする。（市でチャンネルをつくる）
授業で選挙についてディスカッションする機会を設ける
ステッカーも会場で知ったのでもっとみんなに認知してもらわないとステッカーも意味がないと思います。選挙行ったらお店で割引できる特典など作って欲しい。
投票をしないのは、投票したい人がいないから投票しないと思います。私の周りもそうです。投票したら何か貰えるよ、という風潮はあまり賛成ではないです。何か貰う為に選挙に行く事に意味は無いと思うからです。
市内の店で投票済証を提示すると、特典があるようにする。店により、割引だったり、粗品だったり。
家族揃ってお出掛けする行事として自然に、いつの間にか選挙を意識するようにする。
豊川市が動画（ユーチューブ等）を作成して呼びかける。ミニドラマ、ミュージックビデオ風の動画、お笑いタレントを起用するなどして。
「投票割」をしてくれた飲食店がちらほらありましたが、家から遠いお店が多く、もう少したくさんのお店がやってくれたらな、という印象でした。モー娘。の選挙に行って外食する流れの歌を知っている世代は、選挙に行った日は外食したくなる人が多いと勝手に思っています。私にとって投票自体が、イベント感があるのが楽しくて積極的に行っていますが、カフェや、イオンモール内のお店などによく行くので(飲食店との兼ね合いもあり大変だとは思いますが、)、お祭りのような雰囲気でいろいろなお店も協力してもらえると、さらに楽しく参加できるのではと思います。
投票に来たら自販機で使える無料クーポンがもらえる等特典をつける。
期日前投票場がもう少し増えたら嬉しい。可能ならばショッピングモールや大規模スーパーなど。
難しいです。各人の興味感によると思いますので、家庭内で投票に行くことの啓発は必要ですね。
授業で選挙の重要性を伝える。授業や課外活動の一環として将来を考えることに自らが参加する必要があることを幼少期から教える。

【11】ご意見やご要望があれば入力してください

（投票率向上に向けた活動について入力してください。）

投票所の近くで、いなりん・いなりコ・イナリソと交流出来るイベントをしたらついでに投票する人が増えそう。
電子投票は一定の成果は得られるのではないかと思う。（各政党、立候補者の一覧や政策を並べて見られた上で選べるシステムだと良い）政治に参加してくれたということで、一定期間や一定額の税金（消

費税やガソリン税）が優遇されるなどでも効果は高いと思う。（マイナカードや優待券などと連動できるといい）
日常生活との関わりがわかるといいと思います。自分事になるといいですが、なかなか親しみがわかないのが現状です。国府駅などで若い候補者ご本人を身近に拝見しますと応援したくなります。
即効薬や特効薬はないと思うので、地道に広報活動を行っていくしかないかと思います。
投票済証にお金をかけても、企業によっては投票済証を会社(組合)へ提出しないといけないので、本人の手元に残らないので、そこにお金をかけない方がいい。
土日曜日に公開、候補者討論会を数回開催して欲しい。ケーブルテレビとネット配信を選挙区単位で、地方行政共同で配信をして欲しい。国政選挙の場合、県議員と市議員が応援と解説で出演をして、国政議員候補者達の討論を盛り上げて欲しい。地方行政主導での選挙と投票行動を則すイベントが重要と考える。投票率が低下したのは、行政と候補者議員がやましい事を隠すために選挙関連情報が消極的だったからと考える。やましい事(行政的に解決できる姿の提示は要)は積極的公開で市民と共に解決する形を作るのは有効と考える。前問と重複するが、普段、意見などを言う場、機会が行政機関に無いと考えているので、地方行政主体で政治的意見を受け入れる部署を新設するのも有効と考える。
投票所が、体育館や市民会館・公民館であり、投票所の中も固い雰囲気で入りにくい。もっと気軽に投票できる雰囲気やフェス感をだすと若者でも行きやすい状況になるのでは？管理・厳正さは難しくなるが、どこでも気軽に投票できる環境が必要。豊川らしさを出して、豊川稲荷、ぎょぎょランド、イオンモール豊川など若者が行きやすい場所に投票所を設置する。また、キッチンカーやカフェスタンドなどフェス感覚で若者が集える場所で若者は投票可能にすればよい。高齢者は、近隣の公共施設で投票でも良い。もっと身近な場所（ドラッグストア、コンビニ）で投票ができると良い。選挙管理の厳重さは度外視した意見だが、そのくらいのことが必要では。
我が家の子どもたちは、今まで選挙を棄権したことはないといいます。それは、子供が幼い頃私たち親が必ず選挙に子どもを連れて出かけていたからではないかと思います。選挙には行くものという習慣になっているのかな。やはり幼い頃からの刷り込みって大事かな、学校教育の中でお金のこと、政治に参加すること、選挙のことを学ぶことが大事ではないでしょうか。それが大きいこと過ぎてすぐに始められないのであれば、子どもたちにいなりんキラキラシールなどをあげて選挙に行くという習慣をつけてもらう。
ステッカーなど作るより、期日前投票の場合は、みんなが使える市の指定ごみ袋がもらえるなど特典をつけるなど。
駅とか人がたくさんいる所で選挙啓発活動。
自治会を通してニュースに掲載してもらい、各戸配布してもらう。
電子投票の普及や何らかのポイント付与
期日前投票所の増設（市役所は行きづらいため）
投票率向上ではないですが、今回の選挙で、鉛筆で記入すると書き換えられるというデマ情報が流れて、うちの子供の友達たちの一部の子が本気で信じていたので、選挙期間中ではないときに投票箱や投票用紙にふれるイベントや展示などで正しい情報を発信できたらよいのでは思いました。
学校教育の中に選挙に関する内容を取り込み、選挙権のない頃から選挙がいかに大切なものかを教育していくべき。

投票日には、投票タクシーを配置して年配の方が行けるように工夫する。投票日がわかるように、投票できる期間は外に大きい目立つ看板をおく。若い子も行きやすいように大学生のお手伝いさんを募集する。
期日前投票の場所ももう少し増えたら良いなと思う。もっと仕事帰りなら気軽に寄れる場所に設置されていたらいいと思う。
youtube 等で各政党や影響力の高いユーチューバーの配信の影響力は大きいと思います。選挙の投票率向上だけでなく動画配信もありなのではかと考えます。（コンテンツ内容と費用（予算）など課題はあるのでしょうか）
投票後に外食する方が多くいらっしゃるイメージがあります。（我が家はそうです。） 参加店舗を募って、ステッカーを優待券や割引券として使用できるようにするのはいかがでしょうか。ステッカーの提示で「〇%OFF」「ワンドリンクプレゼント」とすることで、投票率もあがり、市内の活性化にも繋がるかと思います。
候補者が、車に乗って、手を振って通り過ぎても、あまり効果なく、スピーカー音がうるさく感じる時もあります。該当演説も、「この時だけ、いい事言っている」と、だいたいの人が思います。こういうのが、投票にも影響しているのでは？まず、候補者の方々が、PR の方法を、昔ながらのやり方を変えるのが、大切だと思います。現代の状況だと、やはり、投票に行けば、誰もが、何か得になるものを受け取れる、そういうのが必要かと思われます。
ステッカー版投票済証は余らないような数を制作しているのでしょうか？ステッカーで投票に行こうとはならないので、余らせるのであればお金の無駄だと思います。
いち早くマイナカードを使った投票を出来る様にする事が一番だと思う。法律改正に向け豊川市発信で国などに働きかけて欲しい。
誰に入れても変わらないと思う気持ちがあるため感心がない。
どんな考えを持っているかなどもっと話す機会があってもいいと思う。
投票に行けない高齢者の投票方法も課題だと思います。投票する意思があっても投票所に行けない人も多いと思います。介護者による代理投票なども検討していただきたいです。
選挙で選ばれた人の政策が自分に跳ね返ってくることを覚悟する。自分たちにとって誰を選べばより良い世の中になるかをしっかり考えたい。
期日前投票所で投票しても、ステッカー版投票済証などがあるという呼びかけ、掲示などの周知があまりされていなかったと思う。ステッカーがあること自体知らなかった。投票を終えた人に投票済証もありますよ、という呼びかけがほしい。
イオンで割と長い期間投票所を開いてくれるのはとても助かっています！引き続きよろしくお願いします！
まだ投票権がない学生さんに出前授業で模擬投票を体験してもらう。
交流会、イベントを設ける。自ら興味を持たない人に普及するには、特典をつけるとそのついでに学ぶことにつながるかなと。